Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1510

LASER SHOT

ＬＩＰＳ機能ガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

プリンタを設置するには パソコンと接続するには オプション品を取り付けるには	設置ガイド
基本的な使いかたを知るには 困ったときには	ユーザーズガイド
プリンタドライバをインストールするには 印刷するには 添付ソフトウェアの使いかたを知るには	LIPS ソフトウェアガイド
操作パネルを使ってプリンタを設定するには	LIPS 機能ガイド（本書）

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

● 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品と異なる場合があります。

LIPS 機能ガイドの構成について

第 1 章 メニュー機能の使いかた　必ずお読みください

第 2 章 各メニューの設定項目

第 3 章 付録

動作モードメニュー、ユーティリティメニューから出力できるリストの内容などについて説明しています。

1
2
3

- 巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
- 本製品に付属のソフトウェア「NetSpot」を使い、パソコンからリモートでプリンタを設定する場合は、添付の「LIPS ソフトウェアガイド」もお読みください。
- ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

本書の読みかた . . . . **v**

マークについて v

キーの表記について v

略称について v

商標について . . . . **vi**

本製品が対応しているコントロールコマンドについて . . . . **vii**

標準対応しているコントロールコマンドについて vii

第1章　メニュー機能の使いかた

メニュー機能 **1-2**

メニュー機能とは 1-2

メニューの種類 1-3

操作キーの使いかた **1-4**

ディスプレイの見かた **1-6**

メニューの構造 1-6

メニュー操作に入ることができる状態 1-6

ディスプレイの見かた 1-7

第2章　各メニューの設定項目

セットアップメニュー **2-2**

セットアップメニューの機能と構造 2-2

セットアップメニューの機能 2-2

セットアップメニューの構造 2-2

セットアップメニューの操作の流れ 2-3

セットアップメニュー初期化の操作の流れ 2-4

拡張機能グループの設定項目 2-5

タイムアウト 2-5

スリープモード 2-5

ブザー 2-6

警告表示 2-6

トナー濃度 2-6

警告処理 2-6

自動エラースキップ 2-7

表示言語 2-7

給紙グループの設定項目 2-8

トレイ用紙サイズ 2-8

デフォルト用紙サイズ 2-8

用紙の向き 2-8
トレイ優先 2-9
自動選択 2-10
デフォルト用紙タイプ 2-10
レイアウトグループの設定項目 2-11
縦補正/横補正 2-11
印字調整グループの設定項目 2-12
バンド制御 2-12
画質警告 2-12
フォームキャッシュメモリ 2-13
印字動作 2-13
インタフェースグループの設定項目 2-16
インタフェース選択 2-16
セントロニクス設定／busy-ack* 2-16
セントロニクス設定／セントロ受信速度* 2-17
セントロニクス設定／セントロ送信速度* 2-17
セントロニクス設定／インプットプライム* 2-17
セントロニクス設定／双方向* 2-18
拡張ネットワーク／TCP/IP* 2-19
拡張ネットワーク／設定登録* 2-19
拡張ネットワーク／設定初期化* 2-20
コネクション認識* 2-20

動作モードメニュー 2-21

動作モードメニューの機能と構造 2-21
動作モードメニューの機能 2-21
動作モードメニューの構造 2-21
動作モードメニューの操作の流れ 2-22
動作モードメニューの設定項目 2-22
動作モード 2-22

ユーティリティメニュー 2-24

ユーティリティメニューの機能と構造 2-24
ユーティリティメニューの機能 2-24
ユーティリティメニューの構造 2-24
ユーティリティメニューの操作の流れ 2-25
ユーティリティメニューの設定項目 2-26
ステータスプリント 2-26
クリーニング用紙 2-26
クリーニング実行 2-26
MPローラクリーニング 2-26
拡張I/Fプリント* 2-27

ジョブキャンセルメニュー 2-28

ジョブキャンセルメニューの機能 2-28
ジョブキャンセルメニューの機能 2-28
ジョブキャンセルメニューの操作の流れ 2-29

給紙選択メニュー 2-30

給紙選択メニューの機能と構造 2-30
給紙選択メニューの機能 2-30

給紙選択メニューの構造 2-30
給紙選択メニューの操作の流れ.................................... 2-31
給紙選択メニューの設定項目 2-32
トレイ用紙サイズ 2-32

第3章　付録

コントロールコマンドリストについて 3-2
リスト 3-3
ヘキサダンプリスト 3-3
LIPSダンプリスト 3-4
枠囲みパターンについて 3-4
改行・改ページを示す記号 3-4
異常終了を知らせる記号 3-4
LIPSダンプリストの文字・記号の表記 3-5
ベクタモードのLIPSダンプリスト 3-5
ステータスプリント 3-6
本プリンタについての注意事項 3-7
索引 3-8
ソフトウェアのバージョンアップについて 3-11
情報の入手方法 3-11
ソフトウェアの入手方法.. 3-11

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や、操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要
- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ
- 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー..................[オンライン]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating systemをWindows と表記しています。

LASER SHOT LBP-1510 を LBP-1510 と表記しています。

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。

LASER SHOTは、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Apple、Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品が対応しているコントロールコマンドについて

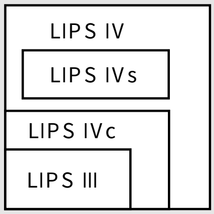
標準対応しているコントロールコマンドについて

本製品は標準でLIPSコントロールコマンドに対応しています。
コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、パソコンのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

本製品が標準で対応しているLIPSコントロールコマンドは、LBP Image Processing Systemの略で、キヤノンのページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。

本製品はLIPS IVsに対応しています。LIPS IVsはWindowsおよびMacintosh専用のコントロールコマンドです。

LIPSには、現在LIPS II、LIPS II^{+}、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IVのバージョンがあります。これらのうち本製品では、LIPS IVsのみに対応しています。



1
CHAPTER

メニュー機能の使いかた

プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明します。

メニュー機能 1-2
メニュー機能とは 1-2
メニューの種類 1-3
操作キーの使いかた 1-4
ディスプレイの見かた 1-6
メニューの構造 1-6
メニュー操作に入ることができる状態. 1-6
ディスプレイの見かた 1-7

メニュー機能

メニュー機能とは

本プリンタではさまざまな設定を行うことができ、それら多数の項目を設定するために「メニュー機能」が用意されています。メニュー機能では、項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能のうち、プリント枚数などの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。しかし、インタフェースの設定など、アプリケーションソフトやプリンタドライバでは設定できない項目もあり、その場合はプリンタの操作パネルで設定します。

本書では、メニュー機能の中でもアプリケーションソフトやプリンタドライバでは設定できない項目に限って説明します。

メモ

- メニュー機能の項目の一覧については、巻末の「メニュールートマップ」をご覧ください。「メニュールートマップ」にはアプリケーションソフトやプリンタドライバから設定できる項目も含まれます。
- パソコン側から設定する方法には、アプリケーションソフトやプリンタドライバのほかに、次の方法があります。
  - ・本プリンタに付属のソフトウェア、「NetSpot」で設定する方法→操作パネルで行う設定とほぼ同様の設定が、パソコン側から行うことができます。設定の方法については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
- メニュー機能の設定内容は、通常は電源を切っても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって電源を入れなおしても、電源を切る前と同じ設定で起動します。

メニューの種類

メニューには、下の図で示した５種類があります。

それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルの以下のキーを押して、ディスプレイに表示します。

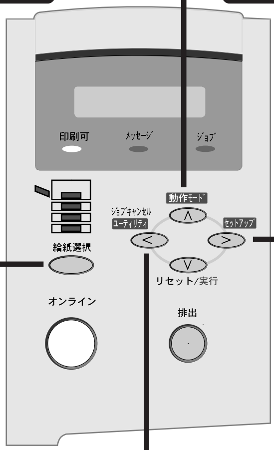
各メニューの機能と構造、操作の流れ、設定項目については、「セットアップメニュー」（→P.2-2）、「動作モードメニュー」（→P.2-21）、「ユーティリティメニュー」（→P.2-24）、「ジョブキャンセルメニュー」（→P.2-28）、「給紙選択メニュー」（→P.2-30）をご覧ください。

動作モードメニュー

データを16進コードやLIPSのコマンドのままプリントするモードに切り替えます。

セットアップメニュー

エラー時の処理やインタフェースの種類など、プリントするときの環境を設定します。



給紙選択メニュー

給紙トレイの用紙サイズなどを設定します。

ユーティリティメニュー

プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

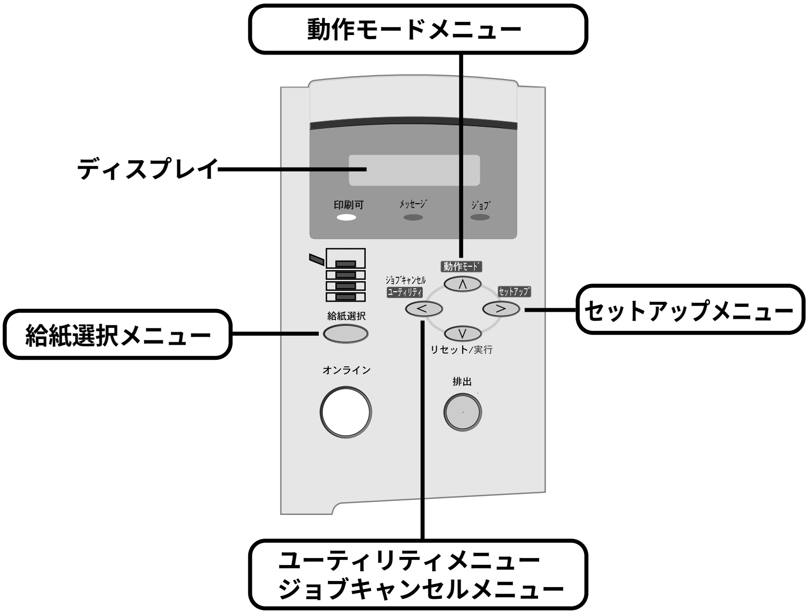
ジョブキャンセルメニュー

現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、[動作モード]、[セットアップ]、[ユーティリティ]／[ジョブキャンセル]、[給紙選択]には、メニューを表示する機能があります。



ひとつのキーが 2 つのメニューに割り当てられている場合は、プリンタの状態によって、どちらのメニューが表示されるかが決まります。

メモ
- [ユーティリティ]／[ジョブキャンセル]は、オフライン状態で有効ですが、ジョブランプが消灯した状態では[ユーティリティ]として、ジョブランプが点灯または点滅した状態（ジョブのデータ処理中またはデータ受信中）では[ジョブキャンセル]としてはたらきます。

各キーの機能は次のとおりです。

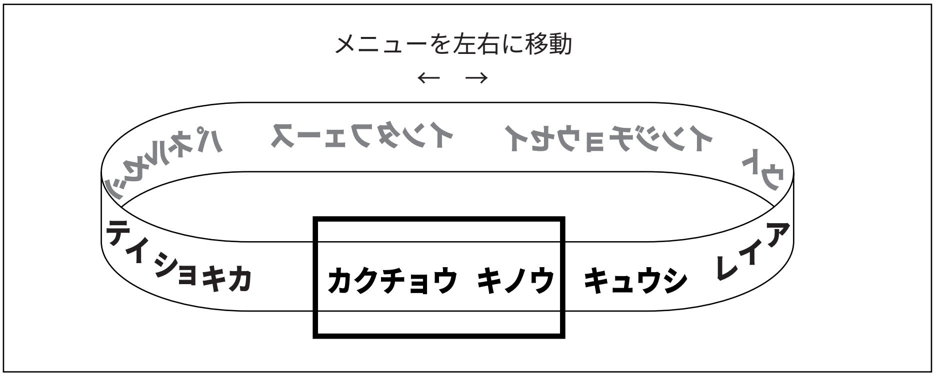
キー	機　能	
	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。本文中では［オンライン］と表記します	
	オフライン状態に切り替えた直後	**メニューの表示中**
	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［>］と表記します。
	動作モードメニューを表示します。本文中では［動作モード］と表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では［∧］と表記します。
	ジョブランプが消灯している状態のときは、ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。 ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）のときは、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［<］と表記します。
	１秒以上押すと、ソフトリセットを行います。 5 秒以上押すと、ハードリセットを行います。本文中では ［リセット／実行］と表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［∨］と表記します。
	用紙を強制的に排出します。	—
	給紙選択メニューを表示します。	—

ディスプレイの見かた

メニューの構造

メニューは下の図のように、1つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されます。したがって、[<] や [>] を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。



メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の2つの条件を満たしている状態です。

①ジョブランプとメッセージランプが消灯している

②ディスプレイに「00 ■■■■」のメッセージが表示されている

例）

プリント可能表示

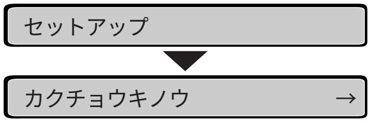
```
00 LIPS        A4
```

ディスプレイの見かた

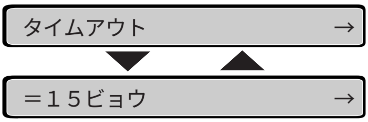
ディスプレイの表示は１行（16文字）です。

キーを押してメニューを表示したあと、自動的にそのメニューの最初の階層の項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。



メニューの一番下の階層を表示したあと、何も操作を行わないと、自動的にひとつ上の階層の項目と現在選択されている階層の項目が、交互にディスプレイに表示されます。



表示中の設定値がこれまでメモリ（NVRAM）に記憶されていた設定と同じ場合は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

各メニューの設定項目

2 CHAPTER

各メニューの構造とプリンタの操作パネルでプリント環境を設定する方法、設定項目の内容について説明します。

セットアップメニュー 2-2
セットアップメニューの機能と構造 2-2
セットアップメニューの操作の流れ 2-3
セットアップメニュー初期化の操作の流れ 2-4
拡張機能グループの設定項目 2-5
給紙グループの設定項目 2-8
レイアウトグループの設定項目 2-11
印字調整グループの設定項目 2-12
インタフェースグループの設定項目 2-16
動作モードメニュー 2-21
動作モードメニューの機能と構造 2-21
動作モードメニューの操作の流れ 2-22
動作モードメニューの設定項目 2-22
ユーティリティメニュー 2-24
ユーティリティメニューの機能と構造 2-24
ユーティリティメニューの操作の流れ 2-25
ユーティリティメニューの設定項目 2-26
ジョブキャンセルメニュー 2-28
ジョブキャンセルメニューの機能 2-28
ジョブキャンセルメニューの操作の流れ 2-29
給紙選択メニュー 2-30
給紙選択メニューの機能と構造 2-30
給紙選択メニューの操作の流れ 2-31
給紙選択メニューの設定項目 2-32

セットアップメニュー

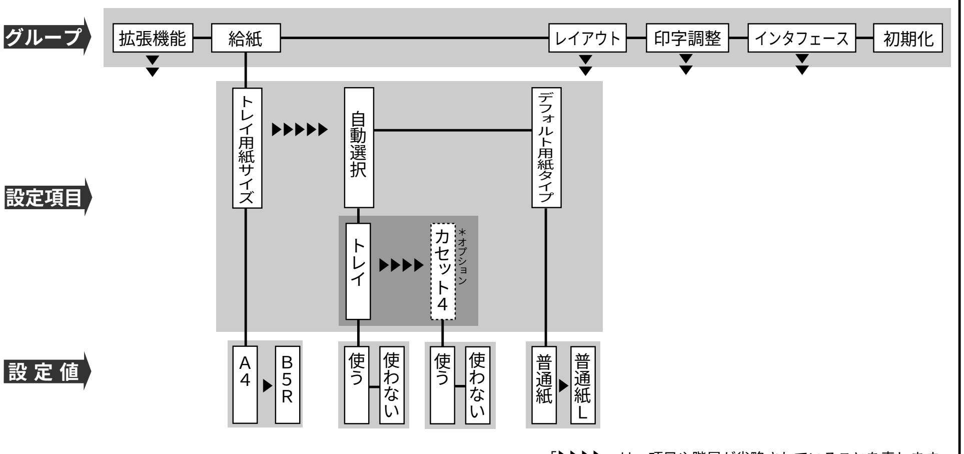
セットアップメニューの機能と構造

セットアップメニューの機能

セットアップメニューでは、エラー時の処理やパソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。また、初期化することで設定を工場出荷時の状態に戻すこともできます。

セットアップメニューの構造

セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。



「▶▶▶▶」は、項目や階層が省略されていることを表します。

メモ
- 項目によっては、上図の「給紙」グループの「自動選択」のように、設定項目の階層が 2 つに分かれているものがあります。
- 「初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニュー初期化の操作の流れ」（→ P.2-4）をご覧ください。
- 点線枠の項目は、オプションのペーパーフィーダを装着している場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。

セットアップメニューの操作の流れ

セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、拡張機能グループのタイムアウトの項目を「30秒」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**［オンライン］を押す**
2	**セットアップメニューを表示する** セットアップ ▼ カクチョウキノウ　→	**［セットアップ］を押す** セットアップメニューが表示されます。
3	**グループを選択する** 「拡張機能」グループを選択した場合 カクチョウキノウ　→	**［>］または［<］を押す** 目的のグループが表示されます。
4	**設定項目を表示 / 選択する** 「タイムアウト」を選択した場合 タイムアウト　→	**［V］を押す** 選択したグループの設定項目が表示されます。 **［>］または［<］を押す** 目的の設定項目が表示されます。
5	**設定値を表示 / 選択する** 「30 秒」を選択した場合 30ビョウ　→	**［V］を押す** 選択した設定項目の設定値が表示されます。 **［>］または［<］を押す** 目的の設定項目が表示されます。
6	**選択した値を確定する**	**［V］を押す**
7	**オンライン状態に戻す**	**［オンライン］を押す**

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

- 操作の途中で［∧］を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。
- 項目によっては、設定項目の階層が複数の階層に分かれている場合があります。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**［オンライン］を押す**
2	**セットアップメニューを表示する** セットアップ ▼ カクチョウ　キノウ　→	**［セットアップ］を押す** セットアップメニューが表示されます。
3	**グループで「パネル設定初期化」を選択する** パネル　セッテイ　ショキカ　→	**［>］または［<］を押す**
4	**初期化を実行する** ジッコウ　シマスカ？　↓	**［∨］を押す** 確認メッセージが表示されます。
5	**選択した値を確定する**	**［∨］を押す** 初期化の実行中は「ショキカチュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。
6	**オンライン状態に戻す**	**［オンライン］を押す**

重要

- 初期化の最中に電源を切らないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。
- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカチュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。

- インタフェースグループの「拡張ネットワーク」の項目は初期化されません。

拡張機能グループの設定項目

タイムアウト

5 〜 15 〜 300 ビョウ、シナイ

自動ジョブ終了の機能を設定します。

本項目でタイムアウトの時間を設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

本項目を設定しておくと、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないためにプリンタ内にデータが残ったままの状態のとき、自動的に排紙することができます。

「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要
- 自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

メモ
- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

スリープモード

15フン、30 プン、60プン

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。オンラインからスリープモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからスリープモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

メモ
- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。
- 本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。
  ・サービスコール（「nn-nn　××」{nn は 2 桁の英数字}）が表示されている
  ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのかを設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ
- エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ
- 本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。

トナー濃度

1 〜 4 〜 8

プリントするときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

警告処理

ケイゾク、テイシ

トナーが残り少なくなった場合に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、トナーが少なくなっても「16　トナー　チェック」を表示しながらプリントを続けます。

「テイシ」に設定すると、トナーが少なくなった場合は、「16　トナー　コウカン」を表示し、プリントを中断します。

メモ
- 「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換したあと、再度プリントを行ってください。

自動エラースキップ

ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「ツカワナイ」を設定した場合、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「ツカウ」を設定した場合、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ

- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、すべてのエラーに対して自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ

- ENGLISH 表示の場合のメニュールートマップはありません。

給紙グループの設定項目

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的には検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン] を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形4号に、「フウトウ　Y2」は洋形2号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。詳しくは、「用紙について」(→ユーザーズガイド) をご覧ください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
- 給紙選択メニューでも同様の設定ができます。(→トレイ用紙サイズ：P.2-32)

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、B6、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できないときのための論理上の用紙サイズを設定します。

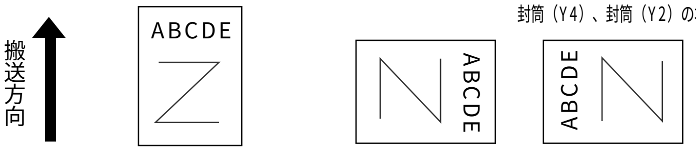
用紙の向き

ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。

給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定してください。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。

なお、本項目は置きかたを設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。



メモ

- 給紙カセットから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、LD、LG
  - ・横置きのみ：A5、B5、LT、EX
  - ・縦置き・横置き：A4
- 給紙トレイから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、B6、ハガキ、往復ハガキ、LD、LG、ユーザペーパー
  - ・横置きのみ：封筒（Y4）、封筒（Y2）
  - ・縦置き・横置き：A4、A5、B5、LT、EX

トレイ優先

シナイ、スル

自動給紙が設定されている場合に、プリンタが給紙トレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、次の順序で行われます。

カセット1 → カセット2* →カセット3*→カセット4*→ 給紙トレイ

「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、給紙トレイから次の順序で行われます。

給紙トレイ →カセット1→カセット2*→カセット3*→カセット4*

*：オプションの250枚ペーパーフィーダ PF-65装着時のみ

メモ

- 自動給紙はプリンタドライバで設定します。
- 本項目は自動給紙が設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、給紙トレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。
- カセット2、カセット3、カセット4はオプションです。

自動選択

トレイ............	**ツカウ、ツカワナイ**
カセット1......	**ツカウ、ツカワナイ**
カセット2*.....	**ツカウ、ツカワナイ**
カセット3*.....	**ツカウ、ツカワナイ**
カセット4*.....	**ツカウ、ツカワナイ**

*「カセット2」、「カセット3」、「カセット4」は、オプションの250枚ペーパーフィーダPF-65が装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。給紙トレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ
- 自動給紙はプリンタドライバで設定します。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、OHP、フツウシL

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

・「フツウシ」　普通紙・再生紙・ラベル用紙

・「アツガミ」　厚紙（91～157g/m^2）

・「OHP」　OHPフィルム

・「フツウシL」　普通紙・再生紙

メモ
- 通常、用紙タイプを設定する場合は、プリンタドライバで設定してください。
- 「フツウシ」に設定してプリントした結果、用紙のカールが目立つときは、「フツウシ L」に設定してください。ただし、「フツウシ L」に設定するとトナーが用紙に定着しにくくなります。
- 「アツガミ」、「OHP」に設定した場合、プリント速度が遅くなる場合があります。
- ハガキ、往復ハガキおよび封筒をプリントする場合は、プリンタドライバやNetSpotで「トレイ用紙サイズ」を設定すると自動的に各用紙タイプの印字モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。

レイアウトグループの設定項目

縦補正 / 横補正

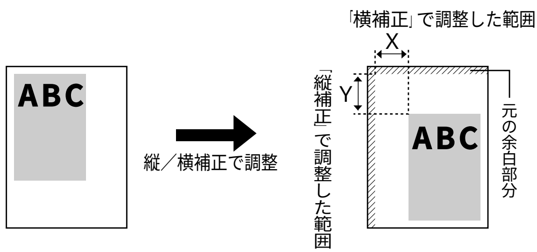
-50.0mm ～ 0.0mm ～ +50.0mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦補正 ：設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
　　　　　設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

横補正 ：設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
　　　　　設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。



重要
- 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされますのでご注意ください。

メモ
- ［>］を押すたびに設定値が 0.5mmずつ増え、［<］を押すたびに設定値が 0.5mmずつ減ります。また、［>］あるいは［<］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

印字調整グループの設定項目

バンド制御

スル、シナイ

本プリンタでは、最小限のメモリで高画質のプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行っています。

通常は「スル」に設定しておいてください。「解像度」をファインモードからクイックモードに切り替えても「21 プリント　オーバーラン」というメッセージが表示される場合に、必要に応じて「シナイ」に設定してください。

●バンド制御とは

バンド制御は、パソコンから受信したデータを、逐次ビットマップ展開して、展開した分のデータからすぐに出力するので、メモリも少なくてすみ、高速に処理できます。

しかし、バンド制御では、データが複雑だとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「21　プリント　オーバーラン」というエラーメッセージが表示されます。

このエラーが起きる場合は、解像度をクイックモード（300dpi）にして再度プリントしてください。それでも同じエラーが起きる場合は、バンド制御を使わない設定にしてください。

メモ
- 解像度の項目はプリンタドライバで設定します。

画質警告

ケイゾク、テイシ

「解像度」がファインモードに設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、高品位のプリントを通常の品位に落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」を設定した場合は、メッセージを表示せずに、自動的に品位を落としてプリントします。「テイシ」を設定した場合は、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、［オンライン］を押すと、品位を落としてプリントを再開します。

メモ
- 本項目を「テイシ」に設定したとき、エラーが発生すると「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが表示されます。

- 本項目を「テイシ」に設定して、「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。
  1.「印字動作」（→P.2-13）を「ガシツ　ユウセン」に設定する
  2.1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合で、「階調処理」が高階調に設定されている場合は、標準に設定する
  ＊ただし、この場合、階調を落としてプリントします。
  3.2の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張メモリ（RAM）を増設する
- 本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、[オンライン］を押すとエラーを解除してプリントを続けることができます。ただし、正しくプリントされない場合があります。
- 解像度、階調処理の項目は、プリンタドライバで設定します。

フォームキャッシュメモリ

ツカワナイ、ツカウ*

*「ツカウ」は、16MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オーバレイプリントに使用するフォーム画像を保持するメモリの容量を設定します。

フォームキャッシュ機能は、登録されたフォームデータをあらかじめ画像として展開した状態でメモリ上に保持し、必要に応じて再利用します。より高速のオーバレイプリントが可能になります。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ
- 本項目は、別売のアプリケーション「FormCraft Pro.」によるオーバレイ出力時に利用します。

印字動作

ジドウ、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。

本プリンタに搭載されているRAM（標準で8MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。

ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合などは、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけでなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。

「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。

「ガシツ　ユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。

「トウロク　ユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツ　ユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

重要

- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

- 登録用の領域として使用できるメモリ容量は、ステータスプリントの「空きメモリ量」を目安にしてください。ただし、ステータスプリントの「空きメモリ量」にプリントされる値はプリンタ待機時の値です。プリンタの状態、ご使用のOSやソフトウェアなどの条件によっては、実際の空きメモリ量がプリントされている値より小さいことがあります。
- 「ガシツ　ユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

●「ガシツ　ユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリや、フォームキャッシュメモリの設定内容によって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

○：「使う」　×：「使わない」

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ	フォームキャッシュメモリ
8（標準）	A4	×
24（＋16MB）	A3×2	×
	A3	○
40（＋32MB）	A3×4	×
	B4×4	○
72（＋64MB）	B4×8	×
	B4×8	○
136（＋128MB）	A3×8	×
	A3×8	○

注：表中に（＋●●MB）とあるのは、標準のRAM（8MB）に加えて必要な拡張RAM（オプション）の容量を示します。

上記の印字保証サイズは、「解像度」の設定がファインモード、「階調処理」の設定が標準の場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

解像度	クイック	4倍
	ファイン	等倍
階調	標準	等倍
	高階調	1/2倍

解像度、階調処理の項目は、プリンタドライバで設定します。

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、オプションのコントロールROMを装着したり、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツ　ユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

インタフェースグループの設定項目

インタフェース選択

ジドウ、セントロニクス、USB、カクチョウ　ネットワーク*

*「カクチョウ　ネットワーク」は、オプションの拡張ネットワークボードが装着されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

「ジドウ」に設定した場合は、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。

先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。

「セントロニクス」「USB」「カクチョウ　ネットワーク」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ
- 拡張メモリ（RAM）を増設していない状態で、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してプリントする場合、本項目を「ジドウ」ではなく「セントロニクス」、「USB」など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

セントロニクス設定／busy-ack*

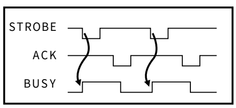
A-B-A、A-B、B-A

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

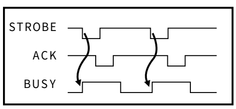
BUSY信号とACKNLG信号の出力順位を変更することができます。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

メモ
- 各設定値ごとのBUSY信号とACKNLG信号の出力順位は次のとおりです。

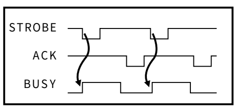
「A-B-A」　：



「A-B」　：



「B-A」　：



セントロニクス設定／セントロ受信速度*

コウソク、チュウソク、テイソク

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ

- 「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

セントロニクス設定／セントロ送信速度*

コウソク、チュウソク、テイソク

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

セントロニクス設定／インプットプライム*

ドウサモード イゾン、リセット

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。

「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信するとジョブを終了します。

「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

拡張インタフェースを使用している場合は、インプットプライムは無視されます。

メモ

- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
- インプットプライムを受信したときは、「03　インプット　プライム」と表示されます。

セントロニクス設定／双方向 *

ECP、ニブル、ツカワナイ

* 「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。通常は「ECP」に設定しておいてください。

「ECP」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECPモード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ニブル」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ツカワナイ」を設定した場合は、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- 本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタはIEEE 1284規格の中のECPモード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windowsを使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。
- Windowsを使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。
- 本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、Windowsのプリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。設定については「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

拡張ネットワーク／TCP/IP*

フレームタイプ	ETHERNET 2、ムコウ
IPモード*	シュドウ、ジドウ
プロトコル*	
DHCP	オフ、オン
BOOTP	オフ、オン
RARP	オフ、オン
アドレス*	
IPアドレス	数値
サブネットマスク	数値
ゲートウェイアドレス	数値

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET 2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。

本プリンタにオプションで装着された拡張ネットワークボードのTCP/IP設定を行います。本項目では、TCP/IPのフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要
- 本項目で設定値を設定したあと、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、ご注意ください。

メモ
- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［<］または［>］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動し、［∨］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［>］を押すと数値が増え、［<］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［∨］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、オプションの拡張ネットワークボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

拡張ネットワーク／設定登録*

－

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示さ

れます。ここで［V］を押すと登録が行われます。［V］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

拡張ネットワーク／設定初期化*

–

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　ショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで ［V］を押すと初期化が行われます。［V］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

コネクション認識*

スル、シナイ

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークを使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

動作モードメニュー

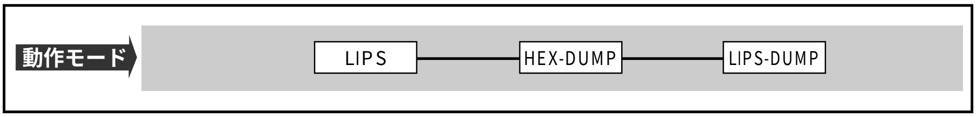
動作モードメニューの機能と構造

動作モードメニューの機能

動作モードメニューでは、データを文字や図形に変換せずに16進コードやLIPSコントロールコマンドの状態でプリントするモードに切り替えることができます。

動作モードメニューの構造

動作モードメニューの階層は1つです。



動作モードメニューの操作の流れ

動作モードメニューは、「動作モード」の階層で目的の項目を選択します。
ここでは、動作モードを「HEX-DUMP」に切り替える手順を説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**[オンライン] を押す**
2	**動作モードメニューを表示する** ドウサ　モード ＝LIPS　→	**[動作モード] を押す** 動作モードメニューが表示されます。
3	**動作モードを選択する** 「HEX-DUMP」を選択した場合 HEX-DUMP　→	**[>] または [<] を押す** 目的の動作モードが表示されます。
4	**動作モードを確定する**	**[∨] を押す**
5	**オンライン状態に戻す**	**[オンライン] を押す**

メモ
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

動作モードメニューの設定項目

動作モード

LIPS、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

動作モードメニューでは、プリンタが動作するモードを設定することができます。

通常、プリンタを使用するときは「LIPS」に設定しておきますが、データを文字や図形に変換せずに16進コードでプリントする「ヘキサダンプ」や、LIPSのコントロールコマンドの状態でプリントする「LIPSダンプ」でプリントすることもできます。

LIPS（LIPSモード）

通常のプリントをするときのモードです。

工場出荷時はLIPSが選択されています。

HEX-DUMP（ヘキサダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」（→ P.3-3）をご覧ください。

LIPS-DUMP（LIPSダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（→ P.3-4）をご覧ください。

ユーティリティメニュー

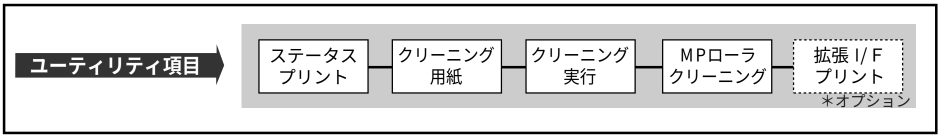
ユーティリティメニューの機能と構造

ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、オプションで搭載された拡張ネットワークボードの情報をプリントして確認することができます。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューの階層は１つです。



メモ
- 点線枠の項目は、オプションの拡張ネットワークボードが装着されている場合にのみ追加して表示され、選択できるようになります。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューは、「ユーティリティ項目」の階層で目的の項目を選択します。ここでは、オプションの「拡張I/F プリント」をプリントする手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**[オンライン］を押す**
2	**ユーティリティメニューを表示する** ユーティリティ ▼ ステータス　プリント　→	**[ユーティリティ］を押す** ユーティリティメニューが表示されます。
3	**ユーティリティ項目を選択する** 「拡張I/F プリント」を選択した場合 カクチョウ　I／Fプリント　→	**[>］または［<］を押す** 目的のユーティリティ項目が表示されます。
4	**選択した項目を確定する**	**[V］を押す** 拡張I/F プリントがプリントされます。
5	**オンライン状態に戻す**	**[オンライン］を押す**

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中、またはリストのプリント中に［オンライン］を押すと、操作またはプリントを中止して、オンライン状態に戻ります。

ユーティリティメニューの設定項目

ステータスプリント

ー

搭載しているメモリ（RAM）の容量や、セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。

メモ
- ステータスプリントの出力サンプルについては、「ステータスプリント」（→ P.3-6）をご覧ください。
- ステータスプリントは現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされ、用紙サイズに合わせて拡大／縮小されます。

クリーニング用紙

ー

プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。給紙トレイに A4 サイズまたはレターサイズを横置きでセットし、「クリーニングヨウシ」を実行します。

クリーニング実行

ー

プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙の印字面を上にして、矢印が奥側に向くように給紙トレイにセットし、「クリーニング　ジッコウ」を実行すると、クリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。

メモ
- 定着ローラのクリーニング操作については、「定着ローラを清掃する」（ユーザーズガイド）をご覧ください。

MP ローラクリーニング

ー

給紙トレイの給紙ローラの清掃を行います。

重要
- 給紙トレイの給紙ローラの清掃を行うときは、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

拡張I/Fプリント*

ー

*「拡張 I/F プリント」は、オプションの拡張ネットワークボードが装着されている場合にのみ表示されます。

オプションで装着した拡張ネットワークボードの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

ジョブキャンセルメニュー

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- ジョブキャンセルの処理は約2秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。
- ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止たいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますのでご注意ください。
- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされない場合があります。
- オフライン状態で、かつジョブランプが消灯している場合、［ジョブキャンセル］／［ユーティリティ］は、［ユーティリティ］として動作します。

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	**［オンライン］を押す** キャンセルしたいジョブがデータ処理中またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯または点滅している状態で操作します。
2 ジョブをキャンセルする ０３　ジョブ　キャンセル	**［ジョブキャンセル］を押す** メッセージが表示されると同時にオンライン状態になります。 ジョブキャンセル状態が約２秒間続き、ジョブのキャンセル処理が終了すると、プリント可能な状態に戻ります。
	プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、次のメッセージが表示されます。 ００　ジョブ　スキップ ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ
- ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「USB」など）がディスプレイに表示されます。

給紙選択メニュー

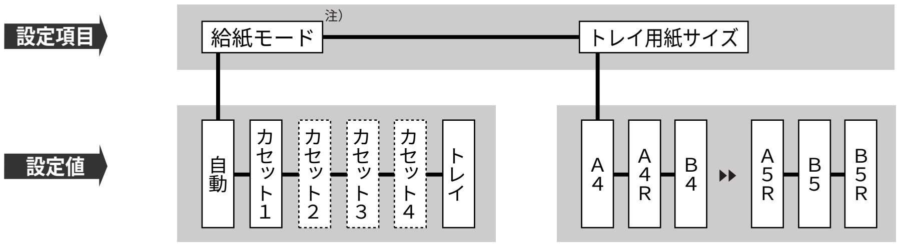
給紙選択メニューの機能と構造

給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、給紙トレイの用紙サイズを選択できます。

給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は2つの階層に分かれています。



注）の項目は、操作パネルのディスプレイに表示されますが、操作パネルからの設定は無効になります。
「▶▶▶▶」は、項目や階層が省略されていることを表します。

メモ

- 点線枠の項目は、オプションのペーパーフィーダを装着している場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- トレイ用紙サイズについては、セットアップメニューの給紙グループでも同様の選択ができます。

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューは、「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層があります。それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、トレイ用紙サイズの項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	**[オンライン] を押す**
2 給紙選択メニューを表示する キュウシ　モード　→	**[給紙選択] を押す** 給紙選択メニューが表示されます。
3 設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択する トレイ　ヨウシ　サイズ　→	**[>] または [<] を押す** 目的の項目が表示されます。
4 設定値を表示する ＝A 4　→	**[給紙選択] または [∨] を押す** 選択した設定項目の設定値が表示されます。
5 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 B 5　→	**[給紙選択] または [>]、[<] を押す** 目的の設定値が表示されます。
6 選択した値を確定する	**[∨] を押す**
7 オンライン状態に戻す	**[オンライン] を押す**

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値で設定されます。
- 給紙モードの「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」はオプションの 250 枚ペーパーフィーダPF-65 を装着している場合にのみ表示されます。

給紙選択メニューの設定項目

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的には検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　Y2」は洋形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10mm内側までとなります。詳しくは、「用紙について」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
- セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」（→ P.2-8）でも同様の設定ができます。

付録

3
CHAPTER

動作モードメニュー、ユーティリティメニューから出力できるリストの内容などについて説明します。

コントロールコマンドリストについて 3-2

リスト 3-3

ヘキサダンプリスト 3-3

LIPSダンプリスト 3-4

ステータスプリント 3-6

本プリンタについての注意事項 3-7

索引 3-8

ソフトウェアのバージョンアップについて 3-11

情報の入手方法 3-11

ソフトウェアの入手方法 3-11

コントロールコマンドリストについて

本プリンタが標準で対応しているLIPSコントロールコマンドの機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属のCD-ROMの［COMLIST］フォルダに［LIPSCONT.TXT］というファイル名で収められています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

メモ
- LIPSコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。

リスト

ヘキサダンプリスト

動作モードメニューで「HEX-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16進コードでプリントします。

1行に32バイトの16進コードを印字します。16進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4サイズポートレイトでのみプリントできます。

操作方法については、「動作モードメニューの操作の流れ」（→P.2-22）をご覧ください。

```
                              Version : R0.08/BEP5C25I                    Page : 2

00660  E4 76 3D 1F 90 48 64 52 39 24 96 4D 27 94 4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F 90 40 40 80 01 E0 50 38 24 16  ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680  0D 07 84 42 61 50 B8 64 36 1D 0F 88 44 62 51 38 A4 56 2D 17 8C 46 63 51 B8 E4 76 3D 1F 90 48 64  .. BaPｸd6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0  52 39 24 96 4D 27 94 4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F 90 40 40 80 01 E0 50 38 24 16 0D 07 84 42 61 50 B8  R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0  64 36 1D 0F 88 44 62 51 38 A4 56 2D 17 8C 46 63 51 B8 E4 76 3D 1F 90 48 64 52 39 24 96 4D 27 94  d6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0  4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F 90 40 40 80 01 E0 50 38 24 16 0D 07 84 42 61 50 B8 64 36 1D 0F 88 44 62  JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700  51 38 A4 56 2D 17 8C 46 63 51 B8 E4 76 3D 1F 90 48 64 52 39 24 96 4D 27 94 4A 65 52 B9 64 B6 5D  Q8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720  2F 90 40 40 80 01 E0 50 38 24 16 0D 07 84 42 61 50 B8 64 36 1D 0F 88 44 62 51 38 A4 56 2D 17 8C  / @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8,V-.
00740  46 63 51 B8 E4 76 3D 1F 90 48 64 52 39 24 96 2D 01 00 0F 00 FE 00 04 00 01 00 00 00 00 00 00 00  FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760  00 01 03 00 01 00 00 00 91 00 00 00 01 01 03 00 01 00 00 00 25 00 00 00 02 01 03 00 01 00 00 00  ...................%............
00780  08 00 00 00 03 01 03 00 01 00 00 00 05 00 00 00 06 01 03 00 01 00 00 00 03 00 00 00 11 01 04 00  ................................
007A0  05 00 00 00 18 06 00 00 15 01 03 00 01 00 00 00 01 00 00 00 16 01 04 00 01 00 00 00 08 00 00 00  ................................
007C0  17 01 04 00 05 00 00 00 2C 06 00 00                                                              ............
```

3

付録

LIPSダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。

現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントします。

操作方法については、「動作モードメニューの操作の流れ」（→P.2-22）をご覧ください。

```
                 Version : Ver.99.99/15.00.R0.05/OG00J22G/FT0H02          Page :  1

00000  ec%@  ecP41;600;1Jec¥  ec[0”p  ec<  ec[?7;600␣I  ec[0’t  ec[0q
00042  ec[14;;;;;;p  ec[0q  ec[;;;;;;;;o  ec[1v  ec[0#x  ec[0;0#w  ec
00085  [0&}
00089  ␣<Mincho-Medium-HusMincho-MediumusGothic-Medium-Hus
00137  Gothic-MediumusMincho-Medium-HPSusMincho-Medium-PS
00185  usGothic-Medium-HPSusGothic-Medium-PSusDutch-Romanus
00233  Dutch-BoldusDutch-ItalicusDutch-BoldItalicusSwissusS
00281  wiss-BoldusSwiss-ObliqueusSwiss-BoldObliqueusNcouri
00329  erusNcourier-BoldusNcourier-ItalicusNcourier-BoldIt
00377  alicusSymbolrs  ␣;1Jus1Ius2!’,2us<!’,2us2!’-2us1!␣&1us1
00422  !␣&2us1”!!0us1”!!1us1”!!2us1”!!3us1!’&2rs  #rs  !0 600 1rs  !1
```

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号

| ：lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、またはff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例：lf｜）

異常終了を知らせる記号

! ：命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

```
                 !
00000  ec[  ec[5m  ABCD
```

LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

上位 / 下位	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードの LIPS ダンプリスト

命令は全角文字で印字されます。

パラメータは１０進コードで、文字パターンは１６進コードでそれぞれ印字されます。

パラメータが２つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

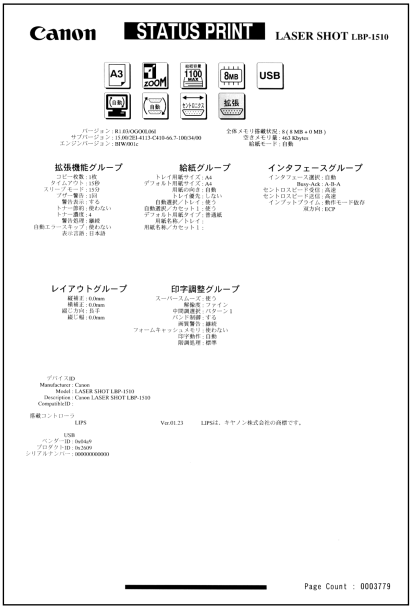
- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード20h（16進コード）は「␣」、文字コードA0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。

  【例】 改ページ→ff　　FFh（16進コード）→FF

ステータスプリント

ユーティリティメニューで「ステータスプリント」を選択すると、搭載しているメモリ（RAM）の容量やプリント環境の設定内容などがプリントされます。

操作方法については「ユーティリティメニューの操作の流れ」（→P.2-25）をご覧ください。


Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1510

A3 ZOOM 給紙容量 1100 MAX 8MB USB
自動 自動 セントロニクス 拡張

バージョン : R1.03/OGO0L06I
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン : BIW/001c

全体メモリ搭載状況 : 8 (8 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 463 Kbytes
給紙モード : 自動

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ モード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット１ : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット１ :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
中間調選択 : パターン１
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動
階調処理 : 標準

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1510
Description : Canon LASER SHOT LBP-1510
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.23 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2609
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0003779

本プリンタについての注意事項

- LIPS IV コマンドのうち、フォントに関するコマンドは、ユーザ文字セットを登録しない限り使用できません。
- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。
- ファインモードに設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して600dpiの解像度が保てず、300dpiに落としてプリントすることがあります。この場合、最初からクイックモードに設定して300dpiでプリントする場合と画質が異なります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用する拡張ネットワークボードによっても異なります。

索引

英数字

busy-ack 2-16
HEX-DUMP 2-23
LIPS 2-23
LIPS-DUMP 2-23
LIPSダンプモード 2-23
LIPSダンプリスト 3-4
LIPSモード 2-23
LIPS（LBP Image Processing System） vii
MPローラクリーニング 2-26
TCP/IP 2-19

あ

印字動作 2-13
印字保証サイズ 2-15
インタフェース選択 2-16
インプットプライム 2-17

か

拡張I/Fプリント 2-27
拡張ネットワーク
　　TCP/IP 2-19
　　設定初期化 2-20
　　設定登録 2-19
画質警告 2-12
画質優先 2-15
キー索引
　　[<] 1-5
　　[>] 1-5

［∧］ 1-5
［∨］ 1-5
［オンライン］ 1-5
［ジョブキャンセル］ 1-5
［セットアップ］ 1-5
［動作モード］ 1-5
［ユーティリティ］ 1-5
［リセット／実行］ 1-5
給紙選択メニュー 1-3, 2-30
クリーニング実行 2-26
クリーニング用紙 2-26
警告処理 2-6
警告表示 2-6
コネクション認識 2-20
コントロールコマンド .... vii, 3-2

3

付録

さ

自動エラースキップ 2-7
自動選択 2-10
ジョブキャンセルメニュー 1-3, 2-28
ステータスプリント 2-26, 3-6
スリープモード 2-5
設定初期化 2-20
設定登録 2-19
セットアップメニュー 1-3, 2-2
セントロ受信速度 2-17
セントロ送信速度 2-17
セントロニクス設定
busy-ack 2-16
インプットプライム 2-17
セントロ受信速度 2-17
セントロ送信速度 2-17
双方向 2-18
操作キーの使いかた 1-4
双方向 2-18

た

タイムアウト 2-5
縦補正 2-11
デフォルト用紙サイズ 2-8
デフォルト用紙タイプ 2-10
動作モード 2-22
動作モードメニュー 1-3, 2-21
トナー濃度 2-6
トレイ優先 2-9
トレイ用紙サイズ 2-8, 2-32

は

バンド制御 2-12
バンド制御とは 2-12
表示言語 2-7
フォームキャッシュメモリ 2-13
ブザー 2-6
ヘキサダンプモード 2-23
ヘキサダンプリスト 3-3

ま

メニュー機能とは 1-2
メニューの種類 1-3

や

ユーティリティメニュー 1-3, 2-24
用紙の向き 2-8
横補正 2-11

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ キヤノンＦＡＸ情報サービス

札幌（011）728-0485	秋田（018）826-0441	仙台（022）211-5730
東京（03）3455-5962	名古屋（052）936-0758	大阪（06）4795-9011
広島（082）240-6729	高松（087）826-1621	福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

■ @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASERSHOT】インフォメーション」内に掲載されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ インターネット：キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

■ @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。NIFTY-Serveの通信料金のみでダウンロードすることができます。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX 情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

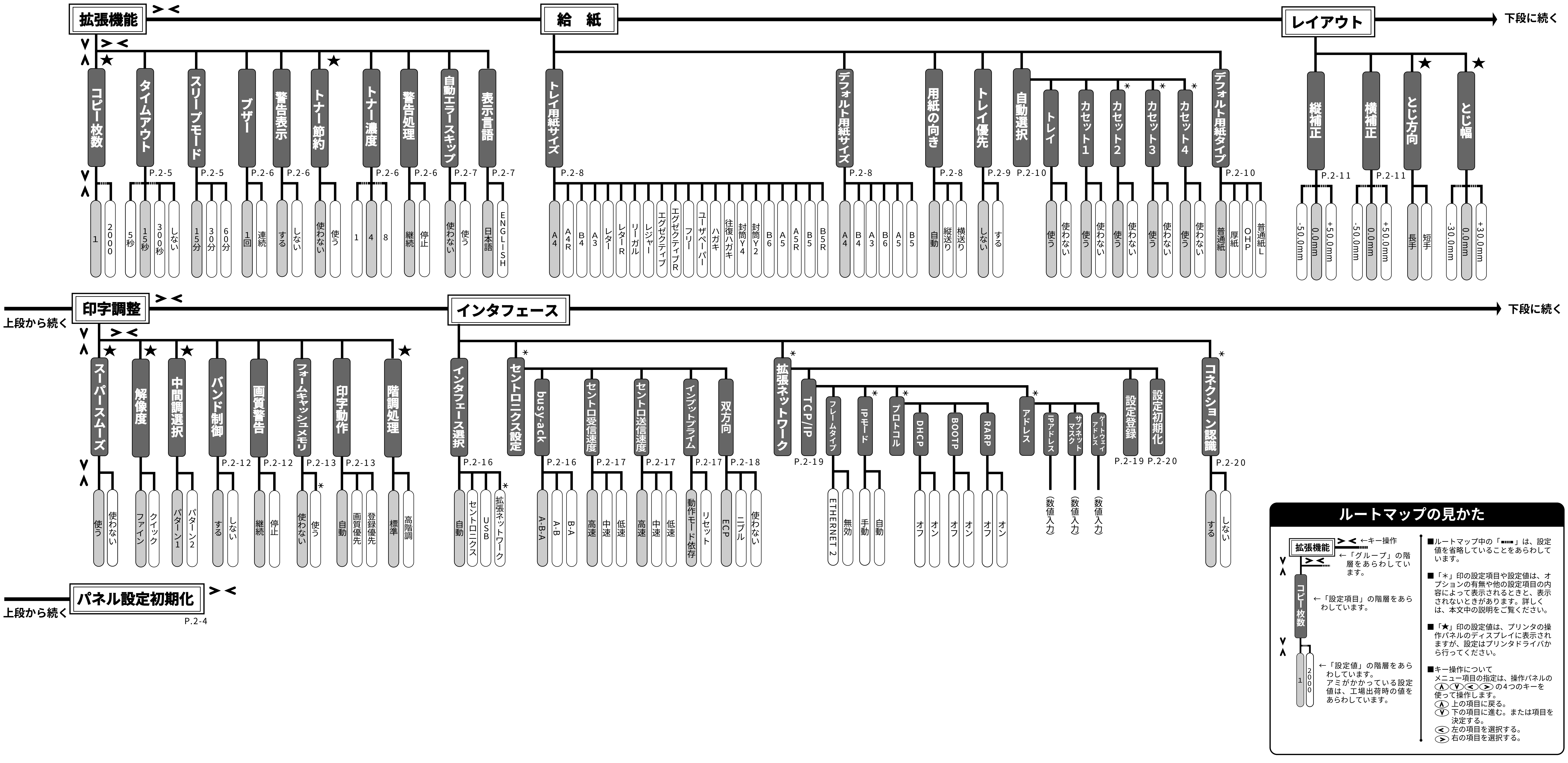
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDが異なります。

キリトリ線

メニュールートマップ

セットアップメニュー編



メニュールートマップ

動作モードメニュー

動作モードメニューの機能と構造→P.2-21
動作モードメニューの設定項目→P.2-22

- **動作モード**
  - LIPS
  - HEX-DUMP
  - LIPS-DUMP

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの機能と構造→P.2-24
ユーティリティメニューの設定項目→P.2-26

- **ステータスプリント**
- **クリーニング用紙**
- **クリーニング実行**
- **MPローラクリーニング**
- **拡張 I/F プリント** ＊

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの機能と構造→P.2-30
給紙選択メニューの設定項目→P.2-32

- **給紙モード** ★
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 ＊
  - カセット3 ＊
  - カセット4 ＊
  - トレイ
- **トレイ用紙サイズ**
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - エグゼクティブR
  - フリー
  - ユーザペーパー
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - B6
  - A5
  - A5R
  - B5
  - B5R

ルートマップの見かた

■「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

■「★」印の項目は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、プリンタドライバから設定してください。

キリトリ線

本書は、本文に
100%の再生紙を使用しています。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon
キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット　**0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *1です。

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043) 211-9627 をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。
月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-918AA　012001SZXX